

外国語活動・英語部 活動報告

部長 松原 郁子

1 活動のねらい

互いの授業を公開し合うなど、小学校と中学校の連携を図りながら、より効果的な指導方法を探り授業実践力の向上をめざす。

2 活動内容

(1) 活動計画立案と、実践上の情報交換（5月）

- 今年度は、小学校の外国語活動と中学校1学年の英語授業を参観し、小中学校でどのような連携を図っていくことが効果的なのか意見交換をする。

(2) 小学校外国語活動参観（9月16日）

- 胎内市立築地小学校6学年
（授業者：竹内敦子教諭）

英語ノート2 Lesson 4

「できることを紹介しよう」（本時：2 / 4）

○ 話し合われたこと

- ・ "Can you ~?" としっかり声に出し、互いにたずねたり答えたりしていた。
- ・ 席順でローテーションさせる手立てがよかった。
- ・ 視聴覚機器（CD-ROM）を効果的に使っていた。
- ・ 授業者の、丁寧で明確な指示がよかった。
- ・ 小学校では「聞く」「話す」が中心になる。文字は使用しないので、聞いたことをそのまま話すことは、難しいと感じた。



(3) 中学校英語科授業参観（11月25日）

- 胎内市立中条中学校1学年（授業者：古川良教諭、坂井美喜教諭、大月祐教諭）
Action 3 「何時ですか？」

○ 話し合われたこと

- ・ ペアやグループを効果的に使って活動させ、自信をもたせるとよい。
- ・ 音声（音読）指導が大切である。機器を使って録音し、その場で聞かせることは効果的である。
- ・ 中学校で文字を「読む」ことに抵抗を感じないように、小学校でフォニックスを取り入れたらどうか。
- ・ 中学校では「書くこと」が壁になり、英語が苦手と感じる生徒が増える。その一方で、外国語活動では「聞くこと」が苦手だった児童が、文字を獲得することで英語に意欲的に取り組めるようになる場合もある。
- ・ 小学校では「聞く」「話す」を通して、英語にたくさんふれることを大切にしたい。中学校では、小学校で体験した「英語」が知識として整理されるのではないか。

3 成果と課題

小学校と中学校双方の授業を参観する機会は、大変貴重で有意義であり、それぞれの学習内容や授業の進め方を実際に見ることができた。

今後は、中学校区内での連携も視野に入れて活動していきたい。